



みやまえ Miyamae

滑川町立宮前小学校 学校だより

3月号 令和 3年 2月26日

電話 0493-56-2204 FAX 0493-56-2065

あたたかな手を差し延べよ

おはようございます。お時間をいただいたのは、他でもありません。昨日、担任の先生から「理科室のインターフォンのコードが切断されていた」とお話があったと思います。実は、音楽室、図工室のインターフォンも同様に切断されていたことが発覚しました。

私は、立場上、地域の方のお話を伺うことが多いです。先日も、ある地域の方から嬉しいお話を聞くことができました。羽尾神社近くの横断歩道に宮前小学校の児童が横断しようとしていたので、停車すると「ありがとうございます」と丁寧にお辞儀をしてくれるというのです。私は、とてもうれしく誇らしい気持ちになりました。御来校いただいた学校評議員さんからも、皆さんの素晴らしさについてたくさんのお話を聞くことができました。

そのさなかでの今回の事件だったのです。ずいぶん違った印象となってしまいましたね。

皆さんには、アンケートにも協力していただきました。アンケートは、犯人捜しを目的としたものではありません。事件を知って皆さんがどう思うか、何を感じるのか、皆さんの気持ちを知りたかったのです。アンケートからは皆さんのしっかりした考えを知ることができてよかったと思っています。

今回のことはとても残念で悲しい。器物破損は暴力行為なんです。そんなことをしてしまうほど苦しんでいる、困っている子がいることに気付かなかったことが残念でなりません。また、皆さんは今回の事件を知って、残念に思ったでしょう。また、「怖い！」と思った人もいたのではありませんか。皆さんにそんな思いをさせたことも、校長として申し訳ないと思います。

皆さんは学校で何を学んでいるのでしょうか。私は、学校は、「頭や体や心が活発に働くことは気持ちいいことだ」ということを学ぶところだと思っています。体育でできなかった技ができるようになったら「やった！」と思うでしょう。算数の難しい問題を自分の力で解けたら「よっ！」って思うでしょう。学校はみんなのために頑張る活動もあるよね。そんな時に人から感謝されたら「うれしい！」って思うでしょう。活発に働くというのは、そういう気持ちを持つことです。その気持ちを味わうために学校で学んでいるのだと思うのです。

インターフォンを壊そうとし、壊した。目標は達成しました。でも、それは、「やった」とか「うれしい」というのとは違うよね・・・

6年生との会食がありました。とても楽しい時間でした。「将来の夢は」とお聞きしましたね。「優しい大人になりたい」「人を笑顔にできる人間になりたい」などと語ってくれた人がいました。私は、とても素敵な考えだと思いました。

自分が、どんな人間であるのかを知る方法が1つあります。それは、周りじゅうの人が自分と同じ人間、同じ言動をする人間だらけの社会、世界を想像することです。

昨日、昇降口の掲示物を取り替えました。読んでくれた人はいますか。視覚障害を持った人の文章です。その方は、目が不自由なため通勤で利用するバスに乗るときにいつも怖い思いをしていたのです。ある時、一人の小学生が声をかけてくれ、腰のあたりに小さな手をあてて「階段です」とバスに誘導してくれたというのです。「感動です」と記しています。その小学生は3年で卒業しましたが、「小さな手」は、妹に引き継がれました。その妹も卒業すると一番下の妹が「小さな手」を差し伸べました。その子も卒業すると今度は別の小学生が・・・「あたたかな小さい手のリレー」という文章です。

この絵本を見てください。そう昨年皆さんに紹介した医師、中村哲さんの物語です。中村さんは凶弾に倒れましたが、中村さんを忘れまいとアフガニスタンで書かれた絵本です。中村さんがリーダーで「小さな手」を持つ人ばかりの世の中だったら、とても素敵なお世界だと思いませんか。皆さんには、そんな素敵なお世界の創り手になってほしいのです。

今回の事件の加害者は、私達から見れば「困った人」ですね。でも、その人は「困っている人」でもあるのです。そんな人にも温かい手を差し延べることができる人になってほしい、困っている人がいたら先生に知らせてくれる人になってほしいと思います。

先生は、最後まで子どもを信じること、信じることが仕事です。あなた方の担任は本当にそんな先生です。どんなことがあっても君たちを信じている、守ろうとしている、そんな担任の先生の気持ちをこれからもずっと裏切らないでほしい。心からそう思います。

しっかり聞いてくれて本当にうれしく思います。私のお話は、以上です。

上記は、事件を受けてアンケートを実施した4年生以上の各クラスでおこなった校長講話の内容です。児童は真剣な面持ちで講話を傾聴していました。学校は、今後とも、児童の声に耳を傾け児童に寄り添い児童の心を耕します。ご家庭でも、是非、事件についてお話し合いいただくとともにあたたかく見守っていただきますようお願い申し上げます。

保護者の皆様、地域の皆様には御心配をお掛けし、誠に申し訳ございません。

児童・保護者の活動、地域の皆様の活動

ラグビー教室を開催しました

2月12日(金)、トップリーグのリコーブラックラムズなどで活躍した横山伸一さん、横山健一さん、森谷和博さん、二宮佑太さんを講師にお招きし、また、ラグビー経験者の山口助教諭も指導陣に加わり、3年生を対象にラグビー教室を実施しました。トップリーガーの逞しい身体と運動能力に児童は目を見張っていました。楕円形のボールを使ってのパス回しでは、どうしたらボールを落とさずに素早くパスすることができるのかを児童自らが考えることの大切さを学びました。また、希望した全ての児童がラインアウトを経験することができました。予想よりはるかに高い位置でボールを受け取って、「怖いけど楽しい」体験もできました。講師の皆様からは、3年生の意欲的な態度にお褒めの言葉をいただきました。



最後のなかよしタイム

2月24日(水)、本年度最後のなかよしタイムがおこなわれました。6年生のリーダーを中心に異学年の児童と一緒に遊びました。最後は6年生に対する感謝の気持ちを5年生以下全員で伝えました。6年生の大リーダーからは、なかよし遠足の思い出や下級生に対する感謝、後を託す気持ちなど、後輩へエールが贈られました。

先日も通学班編成会議がありましたが、新旧交代の様子に春の訪れを感じます。

